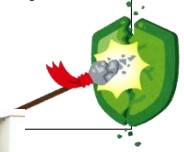


国語 1 年「今に生きる言葉（故事成語）」 S. Y 教諭

故事成語には、現代にも通じる生きた知恵が詰まっている。故事成語の「矛盾」などは、今から 2 千年以上の時空を超えて、私たちの生活に根付いているものである。漢字が、渡来人によって中国から伝わったのは古墳時代。その漢字を書きくずして、かな文字が生まれたのは平安時代。まさに、「今に生きる言葉」である。



【授業の流れ】

(1) 音読

漢文の独特のリズムを、体に親しませる。
起立しての音読で心気の転換を図る。



(2) 宿題の確認（二重否定）



グループで共有し、
選ばれた代表が
黒板に記載。



学級全員の参加を自然な形で促しながら、代表作品を添削していく。

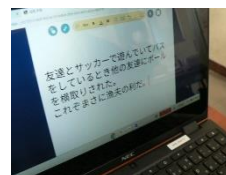
(3) 「推敲」、「蛇足」、「四面楚歌」、「漁夫の利」などの故事成語をテンポよく紹介する。

生徒の思考に合わせた教師の話術と効果的な範読で、テンポよく授業が進んでいく。



(4) 故事成語が実際にあった出来事から生まれたことを踏まえ、故事成語を使って、自分の体験をクロームブックでまとめる。

生徒は抵抗なく、200字程度の体験文を作成。こうしたアウトプットを計画的に実施してきた成果と言える。



※お菓子を母に食べられた体験を、「漁夫の利」で表現した生徒がいました！